

キャラクター名  
ファイブ

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	UGN	エージェント
	キュマイラ		年齢	見た目26歳	性別	男
オプション						
覚醒	忘却	衝動	解放	初期侵食率	40	%
出自	転生体	経験	過酷な環境	邂逅	夢の中	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	6	1	0			7	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	0	0	1			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	10		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	白兵	12r+10	0	23		素手攻撃力-5
80	白兵	12r+10	0	23+6d10		
100	白兵	13r+10	0	27+7d10		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN	
コネ: 情報屋	
思い出の一品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
屍人	P	N		
赤染ゆかり	P 信頼	N 恐怖		
夢の中の自分	P 親近感	N 恐怖		
レトリック	P 執着	N 無意味		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv (下限7)								
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: EA57、そのシーン中の【肉体】使用ダイス+ [Lv+2] 素手以外不可能								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: EA60、戦闘移動を行う。離脱可能、封鎖、エンゲージしても影響を受けない。								
オリジン: ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: EA134、そのシーンの間エフェクト使用判定のあらゆる達成値+Lv								
ヒューマンズネイバー	1	基+5	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: EA134、衝動判定ダイス+Lv								
獣の力	7	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: EA58、白兵の攻撃力+ [Lv×2] する								
獣王の力	1	3	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果: BC60、獣の力と使用。効果を [Lv×4] に変更。								
神獣撃	4	2	メジャー	武器	単体	対決	80	
効果: EA61、完全獣化中に使用。攻撃力+ [Lv+2] Dする。メインプロセス終了時に完全獣化解除。								
獣の王	1	4	メジャー	武器	単体	対決	100	
効果: EA61、対象はリアクション不可。カバーリングでガードできない。								
巨獣の爪牙	1	2d10	マイナー	至近	自身	自動	120	
効果: RW36、そのメインプロセスではメジャーアクションを2回行える。素手による白兵攻撃のみ。								
獣の直感	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: EA63、天候や地震などを察知。								
鋭敏感覚	1	-	メジャー	-	-	自動	-	
効果: EA63、周囲の状況に敏感になる。広範囲を探索できる。								
効果:								

一人称: 俺    二人称: 君、お前

「嫌な予感」というものをよく感じていた。  
 何の皮でできているのかわからない古い本だとか、なんだか古い伝承のある村でやるお祭りだとか、顔のよすぎる知り合いだとか。怪異に対する無意識下の直感。第六感とでもいうのだろうか。そんな危険信号が告げていようと、それにも勝る好奇心。探索せずにはいられないものだ。その好奇心は身を滅ぼし、俺はもう二度と正気には戻れないはずだった。

でも俺は再び目を覚ました。長い悪夢を見ていた感覚。いや、もしかするとその悪夢はいまだに続いているのかもしれない。そんなことを感じようと思えばいいとお腹はすく。疑問は尽きないが、生きていくために今日も働かないといけな。レジカウOUNTER越しの男性は、なぜだかとてもイライラしている様子だ。ふと俺と目が合う。自然と見下す形になってしまう。

なんだか「嫌な予感」がした。

人間のレネゲイドビーイング。細かく分けると直感や第六感などの感覚。「ファイブ」という精神的に死んだ一人の人間の中にレネゲイドが宿り、それがその宿主の記憶を読み取り再現した。自分がなにやらレネゲイドというものらしいことに気づいたが、どうしようもないのでバイトに行っている。やっぱりなんか事件に巻き込まれ、バイトもくびになって絶望していたところ小佐古支部の支部長、半田半蔵に話を聞いてもらいそのまま小佐古へ。基本的に困っている人を放っておけないお人よしだが、それが祟ってひどい目に遭った記憶があるため人間不信。基本弱腰だがストレス過多になるとめんどくさい性格になる。